

■2019.10.13 県北を流れる吉田川堤防決壊による家屋の浸水及び農地の冠水状況
川の南側の農地も広く冠水していたが、町の中心部は高台に位置していたので、水害の影響はなかった。吉田川の北側は、堤防の決壊による冠水が広がり、住宅地も一階部分は、水の中にあった。ちょうど、被災者が消防のヘリで救出され、街中の避難所に搬送されていた。

◆宮城県黒川郡大郷町粕川三十丁
吉田川 大郷大橋から（北に向かって左側）



（北に向かって右側）



■2019.10.14

24時間雨量が600mmという筆甫地区の下流に位置する丸森町の中心地に向かったが、その途中の道路（国道4号線）が交通渋滞していたため柴田町槻木から、迂回して海岸の方（巨理町・山元町）から角田市経由で丸森町に向かった。しかし、角田市の中心部も浸水していたため、車の渋滞が激しかった。丸森町の東側小斎地区を経由して町の中心部に向かったが、農地のほとんどが冠水し、農地の中を通る道はほとんど冠水。そのため山側の細い道を経由して、街中にたどり着いた。中心部はすっぽり冠水し、ポンプアップしていたが、広く冠水していたため、排水が進んでいなかった。街中は、新川・五福谷川の合流地であるとともに阿武隈川に接続する位置にあり、山間部の短時間雨量が激しかったので、その雨水を排出することができず、川の土手越水と堤防の決壊を招き、街中に流れ込んでしまった。

◆角田市島田高田 阿武隈川方向



◆宮城県伊具郡丸森町小斎



◆宮城県伊具郡丸森町千刈場



◆宮城県伊具郡丸森町字鳥屋



宮城県伊具郡丸森町金山地区

役場・町社協等が冠水していたため、引き上げることにした。国道113号線から山元町に戻ろうとしたが、山道ががけ崩れで通行できなかったので、福島県新地地区を経由し、帰ってきた。丸森町は、山間部が多く山間の小川が大量の水を流しきれずあふれて小さな洪水をいたるところで起こしていた。山間の民家もその水の被害に遭っていた。

◆宮城県伊具郡丸森町金山地区



■2019.10.15

蔵王町から大河原町・角田市を經由して丸森町に向かったが、角田市の平坦な農地はほとんど浸水していたり崖崩れによる通行止めがあったりで紆余曲折しながら丸森町の中心地にたどり着いた。

町社協に行くと、事務所は多少地面より高かったため、事務機の芦15センチまでの浸水だったため、机の上の書類・パソコン等に被害がなかった。支援物資として、飲み水6ケースを置いてきた。中心部は水道が普通のため、土砂が10cmほど一面に堆積していて、住民の方々が泥の除去に汗を流していた。

■2019.10.16

大和町での洪水は、吉田川で以前と同じ場所でまた決壊した。

◆宮城県黒川郡大和町吉田字高田下原
吉田川 下原から



■2019.10.17

丸森町社協にマスクとタオルの支援物資を届けた。災害ボラセンの設置場所等を確認した。借用した場所は、泥水等が床一面にあり、18日に掃除したのちにセンター開設の準備に入るとのこと。当センターも設置に向け、全面的に協力することになった。

今後順次情報を発信していきます。

宮城県内のボランティア情報は、情報一元化のため「宮城県社会福祉協議会」のホームページの「災害ボランティアセンター」をクリックして情報を確認してください。